

令和9年度

大学院保健看護学研究科 保健看護学専攻(博士前期課程) 保健看護学専攻(博士後期課程) 学生募集要項

A 日程試験	
出願資格確認・障害事前相談	令和8年 6月 5日(金)～令和8年 6月22日(月)
研究領域等事前相談	令和8年 6月 5日(金)～令和8年 6月26日(金)
出願期間	令和8年 7月 6日(月)～令和8年 7月16日(木)
入学試験日	令和8年 8月28日(金)
合格発表	令和8年 9月 4日(金)
入学手続	令和8年 9月30日(水)、10月1日(木) 午前9時～午後4時
B 日程試験 ※ 実施しない場合がある。	
出願資格確認・障害事前相談	令和8年11月 2日(月)～令和8年11月 9日(月)
研究領域等事前相談	令和8年11月 2日(月)～令和8年11月13日(金)
出願期間	令和8年11月 6日(金)～令和8年11月19日(木)
入学試験日	令和9年 1月22日(金)
合格発表	令和9年 2月10日(水)
入学手続	令和9年 2月16日(火)、17日(水) 午前9時～午後4時

京都府公立大学法人
京都府立医科大学大学院
保健看護学研究科



= 目 次 =

アドミッションポリシー	1
-------------	---

学生募集要項

1 募集人員	2
2 出願資格 [出願資格の認定]	2
3 入学者選抜方法	4
4 研究領域、本学特別研究単位認定教員との事前相談	5
5 身体等に障害のある入学志望者との事前相談	5
6 出願手続	5
7 合格者発表	7
8 入学手続等	7
9 留意事項	8
10 その他の注意事項	8
11 個人情報の取り扱いについて	8
事前相談等連絡票<博士前期課程>	9
事前相談等連絡票<博士後期課程>	10

博士前期課程の概要	11
-----------	----

教育目的、教育課程、履修方法、修了要件、学位の名称、長期履修制度

表1 教育課程（授業科目と担当教員）	12
表2 専門看護師コース教育課程表	14

博士後期課程の概要	15
-----------	----

教育の理念と目的、教育課程、履修方法、修了要件、学位の名称、長期履修制度

表1 教育課程（授業科目と担当教員）	16
--------------------	----

保健看護学研究科 教員一覧	17
---------------	----

アドミッションポリシー

保健看護学研究科博士前期課程

『求める学生像』

- 1 高度で専門的な知識と技術に裏付けられた看護実践力を身につけ、保健看護学の発展に貢献する意欲のある人
- 2 豊かな人間性を備え、生命の尊厳を守る高い倫理観を持つ人
- 3 自らの研究成果を国内外に発信しようとする人
- 4 不断の自己研鑽ができる人

『入学者選抜の基本方針』

本学の理念は世界トップレベルの医学を地域に生かすことである。

保健看護学研究科においても、最先端の生命科学・医学・看護学の知識と、倫理性と創造性に富み、人々が生活する地域社会において高度医療に対応できる質の高い看護を提供できる学生を求める。

本学の入試では、看護学の共通領域および研究領域の筆記試験により保健看護学の研究遂行に必要な専門的知識および能力を評価する。

また、入学志願理由書および個別面接により、保健看護学の学修に関する関心や意欲、人間性を評価する。

保健看護学研究科博士後期課程

『求める学生像』

- 1 保健看護学の専門的知識を基盤に、臨床および教育現場で活用可能な理論と方法論の創出に貢献する意欲のある人
- 2 地域社会において保健・医療サービスを提供するためのシステムの構築およびマネジメントに貢献する意欲のある人
- 3 専門職としての高度で専門的な知識と技術、高い倫理観に裏付けられた看護実践や教育の推進に意欲のある人
- 4 不断の自己研鑽ができる人

『入学者選抜の基本方針』

本学の理念は世界トップレベルの医学を地域に生かすことである。

保健看護学研究科においても、最先端の生命科学・医学・看護学の知識と、倫理性と創造性に富み、指導者、管理者、教育者、研究者として国際的に保健医療活動に貢献できる人を求める。

本学の入試では、共通科目および専門科目の筆記試験により保健看護学の研究遂行に必要な専門的知識および能力を評価する。

また、入学志望理由書および個別面接により、保健看護学の学修に関する関心や意欲、人間性を評価する。

[学生募集要項]

【1】 募集人員 ※社会人としての入学生含む。

本学では、働きながら学びたいという意欲と能力を持った志願者のニーズに応えるため、社会人も受け入れていますが、社会人として入学した学生に対しては、個別状況に沿えるような授業・研究指導を行うよう配慮しています。

課程名	専攻名	募集人員
博士前期課程	保健看護学専攻	【A日程】8名 【B日程】若干名 ※募集しないことがある。

- ・「がん看護専門看護師コース」、「精神看護専門看護師コース」を設置しています。（各定員2名）
一般社団法人日本看護系大学協議会（高度実践看護師教育課程認定委員会）において、38単位課程認定済。
- ・「北部キャンパス 地域総合ケアコース」を令和9年度開設します。（定員2名）
- ・大学院への入学機会を広く提供する観点から、大学を卒業していなくても、本学において事前に出願資格審査を受けて出願資格の認定を得ることを条件に、受験することが可能です。

課程名	研究分野名	募集人員
博士後期課程	・基盤実践保健看護学分野 ・広域実践保健看護学分野	【A日程】3名 【B日程】若干名 ※募集しないことがある。

- ・大学院への入学機会を広く提供する観点から、大学院修士課程を修了していなくても、本学において事前に出願資格審査を受けて出願資格の認定を得ることを条件に、受験することが可能です。

※ 但し、B日程については実施しない場合があります。本学ホームページで確認してください。
(https://www.kpu-m.ac.jp/doc/examination/exam_daigakuin/hokenkango.html)

【2】 出願資格

博士前期課程

次の（1）～（12）のいずれかに該当する者とします。

- （1）学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学（以下「大学」という。）を卒業した者及び入学前年度の3月までに卒業見込みの者
- （2）学校教育法第104条第7項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び入学前年度の3月までに授与される見込みの者
- （3）外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び入学前年度の3月までに修了見込みの者
- （4）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び入学前年度の3月までに修了見込みの者
- （5）我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされたとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び入学前年度の3月までに修了見込みの者
- （6）外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び入学前年度の3月までに修了見込みの者

- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び入学前年度の3月までに修了見込みの者
 - (8) 文部科学大臣が指定した者（昭和28年文部省告示第5号）及び入学前年度の3月までにそれに該当する見込みの者
 - (9) 本学医学部医学科に4年以上在籍し、124単位以上修得した者
 - (10) 学校教育法第102条第2項の規定により本研究科以外の大学院に入学した者であって、本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
 - (11) 大学に3年以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
 - (12) その他本大学院において、個別の出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者及び入学前年度の3月までに22歳に達する者
- ※ (10) (11) (12) により出願しようとする者は、出願資格認定に係る審査を行うので、必ず事前に問い合わせてください（5頁参照）。
 - ※ (10) (11) (12) により出願しようとする者は、原則として実務経験を3年程度有していることが必要です。
 - ※ 地域総合ケアコースは、京都府中丹以北で2年以上の医療・保健・福祉などに関する就業経験を有していることが必要です。
 - ※ 公益社団法人日本看護協会の専門看護師認定審査にあたっては、「看護師免許取得後、実務研修が通算5年以上あり、そのうち通算3年以上は専門看護分野の実務研修であること。」が必要となっています。

博士後期課程

次の(1)～(4)のいずれかに該当する者又は(1)～(3)のいずれかに入学前年度の3月までに該当する見込みの者としてします。

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者
 - (2) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者
 - (3) 文部科学大臣の指定した者
 - (4) 保健看護学研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学前年度の3月31日現在において24歳以上の者
- ※ (4) により出願しようとする者は、出願資格認定に係る審査を行うので、必ず事前に問い合わせてください。（5頁参照）

[出願資格の認定]

出願資格の認定を受けて出願しようとする者は、次により必ず事前に出願資格の認定を申請してください。

ただし、認定申請の前に必ず、

博士前期課程は、研究領域等についての事前相談、

博士後期課程は、本学特別研究単位認定教員との事前相談

を行う必要があります。（5頁参照）

- (1) **申請期間** 【A日程】 令和8年 6月 5日（金）～令和8年 6月22日（月）
【B日程】 令和8年11月 2日（月）～令和8年11月 9日（月）
（※期間内に必着のこと。申請期間後に到着した場合は受理しない。）
- (2) **申請先** 〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465
京都府立医科大学事務局教育支援課入試係
- (3) **申請書類** 次の書類を申請期間内に到着するように「簡易書留郵便」又は「持参」により提出してください。
（直接持参する場合、受付時間は土日祝を除く平日の午前9時から午後4時まで）

博士前期課程

申請書類等	内 容
ア 出願資格認定申請書	本学指定の用紙（様式1）に必要事項を明記したもの。
イ 出願資格認定志望書	本学指定の用紙（様式2）に必要事項を明記したもの。
ウ 卒業（見込）証明書	出願資格に該当する大学等の学長又は学校長等が作成したもの。
エ 成績証明書	出願資格に該当する大学等の学長又は学校長等が作成し、厳封したもの。
オ 看護師等免許証(写し)	実務経験が看護職者（保健師、助産師、看護師）としてのものである場合に提出が必要です。（A4版のコピーとすること）
カ 在職期間証明書	在職に係る所属長の証明書（※専門看護師コース、地域総合ケアコース受験者のみ）
キ 返信用封筒	長形3号の封筒に申請者の住所、氏名、郵便番号を記載し、460円切手を貼付したもの。 簡易書留郵便

博士後期課程

申請書類等	内 容
ア 出願資格認定申請書	本学指定の用紙（様式1）に必要事項を明記したもの。
イ 出願資格認定に係る志望理由書	本学指定の用紙（様式2）に必要事項を明記したもの。
ウ 卒業証明書 [学部]	出身大学の学長又は学部長が作成したもの。
エ 成績証明書 [学部]	出身大学の学長又は学部長が作成し、厳封したもの。
オ 既発表の研究論文(写)	筆頭著者として学術雑誌に掲載された研究論文のコピー1編以上
カ 返信用封筒	長形3号の封筒に申請者の住所、氏名、郵便番号を記載し、460円切手を貼付したもの。 簡易書留郵便

(4) 認定審査結果書類

出願資格認定に係る審査の結果は、本人あて書面で通知します。

【3】 入学者選抜方法**(1) 試験科目等**

- ① **筆記試験** 以下の2科目の両方を解答するものとします。
- ・ 共通科目 [総合問題及び英語]
 - ※ 共通科目（英語）では、本学が貸与する英和辞書のみ使用を認めます。
 - ・ 専門科目 [出願した研究分野に関する問題]
- (博士前期課程、博士後期課程とも17頁参照)

② 面接試験

博士前期課程 指導的・実践的な高度専門職者となるにふさわしい資質及び適性、並びに志望する研究課題等を評価します。

博士後期課程 出願者が希望する研究課題に関するプレゼンテーション(10分以内)及び本学面接実施教員との口頭試問で構成し、この中で指導的・実践的な高度専門職者となるに相応しい資質及び適性、並びに志望する研究課題等を評価します。

※ プレゼンテーションを行うに当たり、パワーポイントの使用を希望する場合は、入学

志望理由書（様式4）の「面接試験時におけるパワーポイント使用の有無」欄中、「使用する」を○で囲んでください。

（2）試験日程

試験日	科目	時間
【A日程】 令和8年 8月28日（金）	筆記試験	
	共通科目（英語）	9:00～10:00（60分）
【B日程】 令和9年 1月22日（金）	共通科目（総合問題）	10:10～11:10（60分）
	専門科目	11:30～12:30（60分）
	面接試験	13:40～（予定）

（3）試験会場 京都府立医科大学 広小路キャンパス看護学学舎（裏表紙参照）

【4】 教員との事前相談 博士前期課程 研究領域等についての事前相談
博士後期課程 本学特別研究単位認定教員との事前相談

すべて入学志望者は、出願に先立ち、前記の事前相談が必要です。次の連絡先まで、事前にメールまたはFAXにより送信・連絡の上、相談日時を予約してください。

なお、連絡の際は、本学所定の用紙（9頁・10頁）を使用してください。

また、事前相談は、研究内容の確認等が目的であり、授業と学生生活等の質問は可能ですが具体的な試験内容等にはお応えできません。

（連絡先） 京都府立医科大学事務局教育支援課入試係
メール：nyushi@koto.kpu-m.ac.jp FAX：(075)251-5216

（事前相談期間） 【A日程】令和8年 6月 5日（金）～令和8年 6月26日（金）
【B日程】令和8年11月 2日（月）～令和8年11月13日（金）

※ 相談日時は、土日祝を除く平日の午前9時から午後5時までです。

※ 担当教員の都合により、必ずしも希望する日時とならない場合があります。

【5】 身体等に障害のある入学志望者との事前相談

身体等に障害のある入学志望者で、受験上又は修学上特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、下記相談期間中に本学事務局教育支援課入試係まで文書（任意様式）で照会してください。

（事前相談期間） 【A日程】令和8年 6月 5日（金）～令和8年 6月22日（月）
【B日程】令和8年11月 2日（月）～令和8年11月 9日（月）

【6】 出願手続

（1）出願期間 【A日程】令和8年 7月 6日（月）～令和8年 7月16日（木）
【B日程】令和8年11月 6日（金）～令和8年11月19日（木）

※この期間の消印のある簡易書留郵便に限り受け付けます。

（2）提出先 〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路ル梶井町465
京都府立医科大学事務局教育支援課入試係

（3）出願書類 次の書類を本学所定の封筒に入れ、出願期間内に「簡易書留郵便」で送付してください。郵送以外の方法により出願した場合は受理しません。

※ 提出書類等の氏名は、通称や略字などを使用せず、戸籍簿（外国人の場合は外国人登録をした氏名で通称名を除く。）に記載のとおり記入してください。

博士前期課程

提出書類	内 容
①入学志望書	本学指定の用紙（様式3-1）に必要事項を明記してください。
②入学志望理由書	本学指定の用紙（様式4-1、4-2）に必要事項を明記してください。
③受験票及び照合票	本学指定の用紙に必要事項を明記し、出願前3箇月以内に撮影した、縦4cm・横3cmの脱帽、上半身、単身の写真をそれぞれ所定欄に貼付してください。 なお、写真裏面には氏名を記入してください。 ※ 受験票及び照合票の写真は、同一のものを貼付してください。
④卒業(見込)証明書	出願資格に該当する大学等の学長又は学校長等が作成したもの。 ※ 出願資格の(2)から(8)によって出願する者は、その資格に関する証明書を提出してください。
⑤成績証明書	出願資格に該当する大学等の学長又は学校長等が作成し、厳封したもの。 ※ 出願資格の(2)から(8)によって出願する者は、その資格に関する成績証明書を提出してください。 ※ 大学以外で看護教育（看護師、保健師、助産師）を受けた者は、当該校の成績証明書も併せて提出してください。
⑥在職期間証明書	在職に係る所属長の証明書（※専門看護師コース、地域総合ケアコース受験者のみ）
⑦出願資格認定審査結果通知書写	出願資格認定を受けて出願する者は、本学から通知の「審査結果（通知書）」のコピーを提出してください。 ※ この場合、上記④⑤⑥は不要です。
⑧入学考査料	30,000円 本学指定の入学考査料振込依頼書を使用して金融機関で振り込んでください。その際、金融機関から発行される「振込金領収証明書（大学提出用） 【C票】 」に金融機関の領収印があることを確認し、入学志望書の裏面の指定位置に貼付してください。 ※ 現金、小切手等では一切受け付けません。
⑨返信用封筒(受験票返送用封筒)	本学指定の封筒に、入学志望者の住所、氏名及び郵便番号を明記し、460円切手を添付してください。 【簡易書留郵便】
⑩あて名票	郵便番号、住所、氏名を記入してください。 なお、合格通知の際に使用しますので、入学志望書の受信場所の欄と同様、合格通知が最も早く本人に送付できる場所を記入してください。

博士後期課程

提出書類	内 容
①入学志望書	本学指定の用紙（様式3-2）に必要事項を明記してください。
②入学志望理由書	本学指定の用紙（様式4）に必要事項を明記してください。
③受験票及び照合票	本学指定の用紙に必要事項を明記し、出願前3箇月以内に撮影した、縦4cm・横3cmの脱帽、正面、上半身、単身の写真をそれぞれ所定欄に貼付してください。また、写真裏面には氏名を記入してください（受験票及び照合票の写真は、同一のものを使用すること。）。
④修了(見込)証明書	〔修士課程又は博士前期課程〕 出身大学の学長又は研究科長が作成したもの。
⑤成績証明書	〔修士課程又は博士前期課程〕 出身大学の学長又は研究科長が作成し、厳封したもの。

⑥出願資格認定審査結果通知書(写)	出願資格認定を受けて出願する者に限り、本学から通知の「審査結果(通知書)」のコピーを提出してください。 ※ この場合、上記④、⑤の提出は不要です。
⑦入学考査料	30,000円 本学指定の入学考査料振込依頼書を使用して金融機関で振り込んでください。 その際、金融機関から発行される「振込金領収証明書(大学提出用) [C票]」に金融機関の領収印があることを確認し、入学志望書の裏面の指定位置に貼付してください。 ※ 本学保健看護学研究科修士課程を入学前年度の3月31日までに修了見込みである者は不要です。 ※ 現金、小切手等では一切受け付けません。
⑧返信用封筒(受験票返送用封筒)	本学指定の封筒に、入学志望者の住所、氏名及び郵便番号を明記し、460円切手を貼付してください。 <u>簡易書留郵便</u>
⑨あて名票	郵便番号、住所、氏名を記入してください。 なお、合格通知の際に使用しますので、入学志望書の受信場所の欄と同様、合格通知が最も早く本人に送付できる場所を記入してください。

【7】 合格者発表

- (1) 日 時 【A日程】 令和8年 9月 4日(金) 午前10時00分
 【B日程】 令和9年 2月10日(水) 午前10時00分

- (2) 場 所 京都府立医科大学河原町キャンパス内掲示板に掲示するとともに、合格者に通知し、併せて入学手続に必要な書類を送付します。また、本学ホームページにも、上記合格発表日時以降に合格者の受験番号を掲載しますが、あくまでホームページでの情報提供は参考情報です。合格の確認は、本学構内の掲示板又は合格者に送付する合格通知書で正式に確認してください。
なお、電話、FAX等による可否の問合せには、一切応じません。

本学ホームページアドレス : <https://www.kpu-m.ac.jp/>

【8】 入学手続等

- (1) 日 時 【A日程】 令和8年9月30日(水)、10月1日(木) 午前9時～午後4時
 【B日程】 令和9年2月16日(火)、17日(水) 午前9時～午後4時
 ※上記日時に手続を行わなかった者は、入学を辞退したものとみなします。

- (2) 場 所 京都府立医科大学事務局教育支援課入試係
 (京都府立医科大学 河原町キャンパス 基礎医学学舎2階)

(3) 入学手続に必要なもの等

合格者に対しては、合格通知の際に入学手続に必要な事項をお知らせします。
上記入学手続日に最低限必要なものは次のとおりです。

- ア 入学金 282,000円
イ 誓書(本学所定の用紙)

- (注) ① 入学金は改定される場合があります。
② 入学金納入方法は合格通知の際にお知らせします。
③ 納入した入学金は、返還しません。
④ 郵送による入学手続は受け付けません。
⑤ 授業料は入学後に別途指示します。(年額535,800円を2期(前期、後期)に分けて納付してください。但し、金額は改定される場合があります。)

(博士前期課程)

- ⑥ 大学を入学前年度の3月までに卒業見込みで受験した者は、卒業証明書及び成績証明書を卒業後速やかに提出してください。

(博士後期課程)

- ⑦ 入学前年度の3月までに修士課程又は博士前期課程を修了見込みで受験した者は、修了証明書及び成績証明書を修了後速やかに提出してください。
- ⑧ 入学前年度の3月までに本学の保健看護学研究科博士前期課程を修了し、引き続き、博士後期課程に進学する者については、入学料は不要です。

【9】 留意事項

- (1) 提出書類に記載事項の記入漏れ等の不備がある場合は受理しません。
- (2) 書類受理後の記載事項の変更は認めません。
- (3) 書類に虚偽の記載があった場合は、入学許可後であっても入学を取り消すことがあります。
- (4) 受信場所を変更したときは、直ちに届け出てください。
- (5) 受理した書類及び入学考査料は返還しません。
- (6) 出願書類等に記載された個人情報(成績判定に関する情報を含む)は、①入学試験、②入学手続、奨学金制度等、③入学者の受入準備の目的において、「京都府公立大学法人における個人情報の保護に関する規程」の定めるところにより取り扱います。

【10】 その他の注意事項

- (1) 試験会場の下見は許可しません。
- (2) 試験当日、合否電報等を扱っている者があっても本学とは何ら関係がありませんので、一切責任は負いません。
- (3) 受験上の注意事項は次のとおりです。
 - ① 試験当日は、必ず受験票を持参し、試験の際、机の上に置いてください。
 - ② 試験当日は、所定の時刻(受験票に記載)までに試験室の座席に着席してください。
 - ③ 試験開始時刻に遅れた場合は、試験場の監督者に申し出て指示を受けてください。15分以内の遅刻者は、やむを得ない理由がある場合に限り受験を許可しますが、その他は一切許可しません。
 - ④ 試験問題についての質問及び受験生の私語は一切許しません。
 - ⑤ 試験室では、特に指定のあったものを除き、受験票、黒鉛筆、黒色のシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(電動式、大型のもの、ナイフ類は不可)、定規、時計(時計機能のものにのみに限ります。また、辞書※、電卓等の機能がないか判別しづらいものは不可)、眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー(箱又は袋から中身だけ取り出したもの)、予備のマスク以外は机の上に置いてはいけません。
※ 共通科目(英語)において、本学が貸し出す英和辞典に限ります。
 - ⑥ 解答には黒以外の鉛筆、シャープペンシルを使用してはいけません。
 - ⑦ 携帯電話・スマートフォン等は、試験室に入る前に電源を切り、かばん等に入れてください。

【11】 個人情報の取り扱いについて

本学では、個人情報については、「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、「京都府公立大学法人における個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱います。

- (1) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜選考)実施)、②合格者発表、③入学手続業務を行うために利用します。
- (2) 入学者のみ、個人情報を入学後の①教務関係(学籍管理、修学指導、教育課程の改善等)、②学生支援関係(学籍管理、就職支援、授業料徴収・減免、奨学金申請等)及びこれらに付帯する業務を行うために利用します。
- (3) 入学者選抜に用いた試験成績は、入学者選抜方法等の改善のための調査・研究を行う際に利用することがあります。ただし、個人が特定される形で、その成果が公表されることはありません。

事前相談等連絡票

京都府立医科大学大学院保健看護学研究科保健看護学専攻(博士前期課程)
令和9年度入学志望者：事前相談等連絡票

貴大学院の令和9年度入学を志望するにあたり、以下のとおり、事前相談を希望しますので、よろしくお願いいたします。

ふりがな 氏名			年齢	歳	性別	
連絡先	〒 TEL： 自宅 - - 携帯 - - FAX： - - Email					
志望先	出願資格		研究領域・コース		北部	教員名
		第1志望				
		第2志望				
事前相談 希望日時	第1希望	令和 年 月 日 () 午前・午後 時 分 ~				
	第2希望	令和 年 月 日 () 午前・午後 時 分 ~				
	第3希望	令和 年 月 日 () 午前・午後 時 分 ~				

- ※ 専門看護師コースを志望する場合は、志望先の研究領域欄に記載すること。
- ※ 北部キャンパスを志望する場合は、「北部」欄に「○」を記載すること。

(注1) 上記太線枠内を記入の上、メールまたはFAXにより送付してください。(やむをえない場合は郵送可)
なお、連絡を確実なものとするため、送付後、電話により受理された旨を必ず確認してください。

送付先：メールアドレス：nyushi@koto.kpu-m.ac.jp

FAX番号：075-251-5216

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路 上る 梶井町465
京都府立医科大学事務局教育支援課入試係
TEL 075-251-5167

- (注2) 「年齢」は、令和9年4月1日時点のものを記入してください。
- (注3) 「連絡先」は、確実に連絡がとれるところ(携帯電話を含む)を記入してください。
- (注4) 「志望先」の「出願資格」は3~4頁を参考の上、該当する番号を記入してください。
- (注5) 「志望先」の「研究領域」「教員名」は17頁を参考の上、志望する研究領域及び教員名を記入してください。(第2志望については、志望する場合のみ記入すること。)
- (注6) 「事前相談希望日時」は、土日祝を除く9時から17時の間で、記入してください。

※ 本様式は、本学ホームページ「保健看護学研究科入試情報」欄から入手可能です。

事前相談等連絡票

京都府立医科大学大学院保健看護学研究科保健看護学専攻（博士後期課程）
令和9年度出願志望者

貴大学院の令和9年度入学を志望するにあたり、以下のとおり事前相談を希望しますので、よろしくお願ひします。

ふりがな 氏名			年齢	歳	性別	
連絡先	〒 ----- TEL：自宅 - - 携帯 - - FAX： - - Email					
志望内容	出願資格	出願志望研究分野名			教員名	
事前相談 希望日時	第1希望	令和	年	月	日（ ）	午前・午後 時 分～
	第2希望	令和	年	月	日（ ）	午前・午後 時 分～
	第3希望	令和	年	月	日（ ）	午前・午後 時 分～

(注1) 上記太線枠内を記入の上、メールまたはFAXにより送付してください。（やむをえない場合は郵送可）

なお、連絡を確実なものとするため、送付後、電話により受理された旨を必ず確認してください。

送信先：メールアドレス：nyushi@koto.kpu-m.ac.jp

FAX番号：075-251-5216

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路の梶井町465
京都府立医科大学事務局教育支援課入試係
TEL 075-251-5167

(注2) 「年齢」は、令和9年4月1日時点のものを記入してください。

(注3) 「連絡先」は、確実に連絡がとれるところ（携帯電話を含む）を記入してください。

(注4) 「出願資格」は4頁を参考の上、該当する番号を記入してください。

(注5) 「出願志望専攻分野名」及び「教員名」は17頁を参考の上、記入してください。

(注6) 「事前相談希望日時」は、土日祝を除く9時から17時の間で、記入してください。

※ 本様式は、本学ホームページ「保健看護学研究科入試情報」欄から入手可能です。

保健看護学研究科保健看護学専攻博士前期課程の概要

【教育目的】

保健看護学研究科博士前期課程では、人々が高度医療と質の高い看護を享受するために、保健看護学分野の理論と方法論の構築をはかり、研究者・教育者および高度な専門性を持った医療職者を育成することを目的としている。

本課程修了にあたっては、「世界のトップレベルの医学を地域へ」の理念のもと、保健医療等の分野において、学際的展開を図りうる保健看護学の研究者及び広域的な指導力を発揮できる高度な専門職業人として、以下の見識と能力を有していることを目標とする。

- 1 保健看護学分野における専門的な知識と技術に裏付けられた実践能力を身につけている。
- 2 豊かな人間性を備え、生命の尊厳を守る高い倫理観を修得している。
- 3 自らの研究成果を国内外に発信できる基礎的能力を身につけている。

【教育課程の概要】

1 教育課程

共通科目と専門科目から編成され、共通科目には専門科目を支える科目を配置している。専門科目には、保健看護学教育・研究者や、高度看護実践指導者（がん看護及び精神看護専門看護師を含む）となるための科目を設定し、学生がそれぞれの希望進路に合わせて選択できるように配慮した。（表1参照）

2 履修方法

学生は自らの目標が達成できるように、指導教員の助言を受けて履修計画を立て、以下のように30単位以上を修得しなければならない。

（1）履修科目と修得単位

- ア 共通科目は、必修科目2科目及び選択科目2科目以上を履修し、計8単位以上修得する。
- イ 専門科目は、12単位以上、特別研究・演習・実習で計10単位以上を修得する。

なお、がん看護専門看護師コースについては、38単位課程として日本看護系大学協議会の認定を受けている。学生は、希望する課程に応じ、各教育課程表（表2参照）の科目区分に応じた必要単位を修得する。

（2）研究指導

研究指導は、各自の研究指導教員による指導を主とするが、研究内容によっては複数の教員による研究指導体制をとる。

3 修了要件

（1）修了年限

修業年限は2年とする。但し、在学期間は4年を超えることができない。

（2）修了要件

修了要件は、共通科目8単位以上、専門科目12単位以上、特別研究・演習・実習で10単位以上を履修し、計30単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上、修士論文に係る審査及び試験に合格することが必要である。

なお、がん看護専門看護師コース及び精神看護専門看護師コースについては、各教育課程表（表2参照）の科目区分に応じた必要単位を修得する他、大学院必修科目を修得し、必要な研究指導を受けた上、特定の課題についての研究の成果の審査及び試験に合格することが必要である。

4 学位の名称

本研究科の課程を修了した者に与える学位は、
保健看護学専攻 修士（保健看護学）

Graduate School of Nursing for Health Care Science, Master of Nursing for Health Care Science
である。

5 長期履修制度

本研究科では、職業を有している等の事情により、標準修業年限（2年）を超えて一定の期間（最長4年まで）にわたり計画的に教育課程を履修することを申請する者については、審査のうえ許可することがある。

詳細については、教育支援課入試係（電話：075-251-5167）まで問い合わせること。

◇北部キャンパス 地域総合ケアコースを開設

令和9年度に京都府立医科大学北部キャンパスに地域総合ケアコースを開設します。本コースは、地域における様々な健康課題を対象とした研究に取り組み、健康寿命延伸を目指すことで、住み慣れた地域で高齢者だけでなく、子育て世代や障がい者も含め、多様な世代の人が支え合いながら生活できる令和時代の地域包括ケアシステムの構築を探究するコースです。また、これからの地域医療を担う看護職の人材を育成することに加え、北部キャンパスの北部医療センターをはじめとする各センター並びに医学研究科と保健看護学研究科の視点を組み合わせた教育研究活動を推進していくことにより、京都府立医科大学の研究力を高めるとともに社会的責務を果たすことを目指します。

地域総合ケアコースは、京都府立医科大学北部キャンパスを拠点としており、中丹以北の病院などで2年以上働いた経験のある看護師などを対象とした博士前期課程です。教育は、保健看護学研究科の教員が全領域にわたって指導します。河原町・広小路キャンパスで行われる大学院講義（共通領域）についてはリモートまたはオンデマンドで提供され、研究指導については各自の研究指導教員による指導だけでなく、北部専任教員の対面指導および研究内容によっては複数の教員による研究指導体制をとり、専門性の高い領域の教員が指導いたします。

詳しい科目や授業内容は、担当教員にお尋ねください（志澤美保 mshizawa@koto.kpu-m.ac.jp）。

表1 教育課程（授業科目と担当教員）

区分	授業科目名	単位数				学期	修了要件履修単位	担当教員名 (◎は主担当教員を示す)	備考
		必修	選択	がんCNS 必修 選択	精神CNS 必修 選択				
共通科目	[1] 保健看護学理論	2	2	2	前期	8 単 位 以 上	◎内海桃絵、郷良淳子、志澤美保、毛利貴子、宮田千春、原田清美、近田 藍、占部美恵		
	[2] 研究方法論特論	2	2	2	前期		◎志澤美保、内海桃絵、宮田千春、室田昌子、細川陸也、山口未久		
	[3] 保健看護情報科学特論	2	2	2	前期		篠原正典		
	[4] 保健福祉政策特論	2	2	2	後期		◎志澤美保、細川陸也、上掛利博、池田裕子		
	[5] 看護教育学特論	2	2	2	前期		◎近田 藍、山本裕子、筒井佳澄、川上祐子		
	[6] 看護倫理	2	2	2	後期		◎宮田千春、毛利貴子、室田昌子、瀬戸山晃一、吉岡さおり、郷良淳子、高橋由紀、近田 藍		
	[7] 看護管理論	2	2	2	前期		宮田千春		
	[8] コンサルテーション論	2	2	2	後期		◎郷良淳子、柱谷久美子、占部美恵、吉岡とも子		
	[9] 看護政策論	1	1	1	後期		◎吉岡さおり、豊田久美子、角田由佳		
	[10] 英書講読	2	2	2	前期		Jason Barrows		
小計(10科目)		4	15	4	15				
専門科目	[11] 健康増進支援技術特論	2	2	2	後期	12 単 位 以 上	◎志澤美保、細川陸也、村上佳栄子		
	[12] 地域保健看護学特論	2	2	2	前期		志澤美保		
	[13] 高齢者保健看護特論	2	2	2	前期		◎毛利貴子、川上祐子、伊藤尚子		
	[14] 女性保健看護学特論	2	2	2	後期		◎高橋由紀、山田安希子、吉岡友香子		
	[15] 高齢者ケア特論	2	2	2	後期		◎毛利貴子、川上祐子、伊藤尚子、鈴木 聡		
	[16] 看護管理特論	2	2	2	後期		宮田千春		
	[17] ヘルスアセスメント特論	2	2	2	後期		◎内海桃絵、山本容子、島田順一、郷良淳子、江口秀子、筒井佳澄		
	[18] 健康回復支援技術特論	2	2	2	後期		内海桃絵		
	[19] 成人健康回復期支援特論Ⅰ	2	2	2	前期		◎室田昌子、吉岡さおり、佐伯良子		
	[20] 成人健康回復期支援特論Ⅱ	2	2	2	後期		◎吉岡さおり、山本裕子、室田昌子		
	[21] 精神保健看護学特論	2	2	2	前期		◎郷良淳子、柱谷久美子、占部美恵、福田弘子		
	[22] 発達障害特論	2	2	2	後期		森本昌史		
	[23] 小児看護特論	2	2	2	後期		◎原田清美、山口未久		
	[24] 臨床遺伝学特論	2	2	2	後期		◎島田順一、森本昌史、千代延友裕、水田依久子、村島京子、加藤千翔、前田英子、黒田純也、山中巧		
	[25] 病態生理学総論	2	2	2	前期		◎島田順一、森本昌史、楠木泉、林容子、吉岡さおり		

区分	授業科目名	単位数						学期	修了要件履単位	担当教員名 (◎は主担当教員を示す)	備考
		必修	選択	がんCNS		精神CNS					
				必修	選択	必修	選択				
専門科目	[26] 腫瘍病態生理学各論		2	2			2	後期	◎島田順一、森本昌史、楠木泉、高山浩一、黒田純也、高橋義信		
	[27] 臨床薬理作用論		2	2			2	後期	◎島田順一、山本容子		
	[28] 地域包括ケア学特論		2		2		2	通年	◎志澤美保、山口未久 ※開講は令和9年度～		
	[29] がん看護学特論		2	2			2	前期	◎吉岡さおり、林容子、藤田かおり		
	[30] がん看護学援助特論		2	2			2	後期	◎林容子、吉岡さおり、鈴木弦、田村恵子、作田裕美		
	[31] 緩和ケア		2	2			2	後期	◎林容子、吉岡さおり、郷良淳子、天谷文昌、田村恵子、関川加奈子		
	[32] がん薬物療法看護		2	2			2	通年	◎林容子、越智幾世、原田清美、吉岡さおり、村木明美、神林祐子		
	[33] パインマネジメント		1		1		1	通年	◎林容子、吉岡さおり、天谷文昌		
	[34] エンドオブライフケア		1		1		1	通年	◎林容子、吉岡さおり		
	[35] 精神保健看護援助特論		2		2	2		前期	◎柱谷久美子、郷良淳子、占部美恵、福田弘子		
	[36] 精神科治療特論		2		2	2		後期	◎郷良淳子、成本迅、中前貴、中嶋義幸、柱谷久美子、占部美恵、福田弘子		
	[37] 地域精神看護特論		2		2		2	後期	◎郷良淳子、柱谷久美子、占部美恵、福田弘子、碩優子	※	
	[38] リエゾン精神看護特論		2		2		2	後期	◎柱谷久美子、郷良淳子、服部希恵	※	
	小計(28科目)		54	16	38	12	42				
特別研究・演習・実習	[39] 特別研究	8						通年	志澤美保、森本昌史、島田順一、楠木泉、郷良淳子、吉岡さおり、毛利貴子、内海桃絵、宮田千春、高橋由紀、室田昌子、原田清美、伊藤尚子、林容子、細川陸也、近田 藍、山口未久、山本容子、占部美恵		
	[40] 専門演習	2						通年			
	[41] がん看護学演習Ⅰ			2				前期	◎林容子、吉岡さおり、室田昌子、永井義浩、白井由紀		
	[42] がん看護学演習Ⅱ			2				後期	◎林容子、越智幾世、吉岡さおり、吉田直久、西岡直哉、神林祐子		
	[43] がん看護学課題研究			2				通年	◎吉岡さおり、林容子		
	[44] がん看護学実習Ⅰ			2				前期	◎吉岡さおり、林容子		
	[45] がん看護学実習Ⅱ			2				前期	◎吉岡さおり、林容子、吉岡とも子、服部美景、杉浦康代、藤田かおり		
	[46] がん看護学実習Ⅲ			2				前期	◎林容子、吉岡さおり		
	[47] がん治療看護実習Ⅰ			2				後期	◎林容子、越智幾世、吉岡さおり、吉岡とも子、吉田直久、土井俊文		
[48] がん治療看護実習Ⅱ			2				前期	◎林容子、吉岡さおり、永井義浩、吉岡とも子、関川加奈子			
特別研究・演習・実習	[49] 精神保健看護学演習Ⅰ					2		前期	◎郷良淳子、柱谷久美子、占部美恵、福田弘子、田邊友也		
	[50] 精神保健看護学演習Ⅱ					2		通年	◎郷良淳子、成本迅、加藤佑佳、柱谷久美子、占部美恵、福田弘子、高田雅章		
	[51] 精神保健看護学演習Ⅲ					2		後期	◎郷良淳子、柱谷久美子、中嶋義幸、占部美恵、福田弘子、碩優子、高田雅章、木下将太郎、辻本真由美		
	[52] 精神看護実習Ⅰ					1		前期	◎郷良淳子、柱谷久美子、佐藤雅美、篠木由美		
	[53] 精神看護直接ケア実習Ⅰ					4		通年	◎郷良淳子、柱谷久美子、占部美恵、福田弘子、岡部英子、高田雅章、木下将太郎、辻本真由美		
	[54] 精神看護直接ケア実習Ⅱ					2		前期	◎郷良淳子、柱谷久美子、矢守麻里、山口陽子		
	[55] 精神看護実習Ⅱ					1		前期	◎郷良淳子、柱谷久美子		
	[56] 精神看護治療実習					2		前期	◎郷良淳子、成本迅、中前貴、中嶋義幸、加藤佑佳、柱谷久美子		
	[57] 精神保健看護学課題研究					2		通年	郷良淳子		
小計(19科目)	10		16		18						
合計(57科目)	14	69	36	53	34	57	30単位以上				

※精神CNSコースは、※のいずれかから1科目選択

表2 専門看護師コース教育課程表

(1) がん看護専門看護師コース (38単位課程相当※)

科目区分 (必要履修単位)	大学院該当科目	必修 選択	単 位 数	配当学年				備 考
				1学年		2学年		
				前期	後期	前期	後期	
専門看護師 共通科目A (8単位以上)	[1] 保健看護学理論	必修	2	2				
	[2] 研究方法論特論	必修	2	2				
	[5] 看護教育学特論	選択	2	2				
	[6] 看護倫理	選択	2		2			
	[7] 看護管理論	選択	2	2				
	[8] コンサルテーション論	選択	2		2			
	[9] 看護政策論	選択	1		1			
専門看護師 共通科目B (6単位以上)	[17] ヘルスアセスメント特論	必修	2		2			
	[25] 病態生理学総論	必修	2	2				
	[27] 臨床薬理作用論	必修	2		2			
がん看護共通科目 (6単位以上)	[26] 腫瘍病態生理学各論	必修	2		2			
	[29] がん看護学特論	必修	2	2				
	[30] がん看護学援助特論	必修	2		2			
がん看護専門科目 (8単位以上)	[31] 緩和ケア	必修	2		2			
	[32] がん薬物療法看護	必修	2	2				
	[41] がん看護学演習Ⅰ	必修	2	2				
	[42] がん看護学演習Ⅱ	必修	2		2			
がん看護実習科目 (10単位以上)	[44] がん看護学実習Ⅰ	必修	2	2				
	[45] がん看護学実習Ⅱ	必修	2			2		
	[46] がん看護学実習Ⅲ	必修	2			2		
	[47] がん治療看護実習Ⅰ	必修	2		2			
	[48] がん治療看護実習Ⅱ	必修	2			2		
大学院必修科目	[43] がん看護学課題研究	必修	2	2				

※上記38単位課程は、一般社団法人日本看護系大学協議会において認定されたものである。
(認定日:2017年1月9日、有効期間:2017年4月～2027年3月)

(2) 精神看護専門看護師コース (38単位課程相当※)

科目区分 (必要履修単位)	大学院該当科目	必修 選択	単 位 数	配当学年				備 考
				1学年		2学年		
				前期	後期	前期	後期	
専門看護師 共通科目A (8単位以上)	[1] 保健看護学理論	必修	2	2				
	[2] 研究方法論特論	必修	2	2				
	[5] 看護教育学特論	選択	2	2				
	[6] 看護倫理	選択	2		2			
	[7] 看護管理論	選択	2	2				
	[8] コンサルテーション論	選択	2		2			
	[9] 看護政策論	選択	1		1			
専門看護師 共通科目B (6単位以上)	[17] ヘルスアセスメント特論	必修	2		2			
	[25] 病態生理学総論	必修	2	2				
	[27] 臨床薬理作用論	必修	2		2			
精神看護共通科目 (12単位以上)	[21] 精神保健看護学特論	必修	2	2				
	[35] 精神保健看護学援助特論	必修	2	2				
	[49] 精神保健看護学演習Ⅰ	必修	2	2				
	[50] 精神保健看護学演習Ⅱ	必修	2	2				
	[51] 精神保健看護学演習Ⅲ	必修	2		2			
	[36] 精神科治療特論	必修	2		2			
精神看護専門科目 (2単位以上)	[37] 地域精神看護特論	選択※	2		2			※はいずれかの科目から1科目選択
	[38] リエゾン精神看護特論	選択※	2		2			
精神看護実習科目 (10単位以上)	[52] 精神看護実習Ⅰ	必修	1	1				
	[53] 精神看護直接ケア実習Ⅰ	必修	4	4				
	[54] 精神看護直接ケア実習Ⅱ	必修	2			2		
	[55] 精神看護実習Ⅱ	必修	1			1		
	[56] 精神看護治療実習	必修	2			2		
大学院必修科目	[57] 精神保健看護学課題研究	必修	2	2				

※上記38単位課程は、一般社団法人日本看護系大学協議会において認定されたものである。
(認定日:2024年1月26日、有効期間:2024年4月～2034年3月)

保健看護学研究科保健看護学専攻博士後期課程の概要

【教育の理念と目的】

保健看護学研究科保健看護学専攻博士後期課程では、社会の基盤となる健康的な地域づくりを支えるための看護実践に活用可能な理論構築やシステム開発を目指し、科学的な思考に基づいた京都府内や北部医療の看護ケアニーズを解決するための看護教育を通して地域からの付託に応えるとともに、高度な専門的知識と技術の発展に寄与し、より高度かつ先進的な教育・研究を推進する府内の教育中枢機関として機能することを理念に掲げる。

本学博士課程においては、「専攻分野について研究者として自立して研究活動を行うに必要な高度の研究能力およびその基礎となる豊かな学識を養うものとする」ことを教育・研究上の目的としており、これを受け本課程では、従来からの医学研究科との連携をさらに強化することで、少子高齢社会など現代社会における医療問題の解決に向け、倫理性且つ論理性に裏付けられた質の高い保健や看護を提供するため、高度な研究能力と実践能力、教育能力の涵養を通じて、広域的な指導力を発揮できる高度な専門職業人及び学際的展開を図りうる保健看護学の教育・研究者の養成をその目的とする。

【教育課程の概要】

1 教育課程

共通科目として「研究方法論特別講義」、「生命・医療倫理特別講義」、「統計方法論特別講義」の必修3科目、専門科目に選択科目である「基盤実践保健看護学特別講義」「広域実践保健看護学特別講義」並びに必修科目である「保健看護学特別演習」及び「特別研究」を配置することで、これらの学修を通じて、高邁な倫理観を身につけるとともに、専攻分野に関して自立した教育研究や実践活動を行うに必要な能力とその基礎となる豊かな学識を涵養する。

2 履修方法

学生は自らの目標が達成できるように、指導教員の助言を受けて履修計画を立て、以下のように16単位以上を修得しなければならない。

(1) 履修科目と修得単位

ア 共通科目は、必修科目3科目を履修し、計6単位を修得する。

イ 専門科目は、選択科目で1科目2単位以上、必修科目である特別演習及び特別研究で計8単位、合計10単位以上を修得する。

(2) 研究指導

研究指導は、各自の研究指導教員による指導を主とするが、研究内容によっては複数の教員による研究指導体制をとる。

3 修了要件

(1) 修業年限

修業年限は3年とする。但し、在学期間は6年を超えることができない。

(2) 修了要件

修了要件は、共通科目6単位、専門科目10単位以上を履修し、計16単位以上を修得するとともに、必要な研究指導を受けた上、博士論文に係る審査及び試験に合格することが必要である。

4 学位の名称

本研究科の課程を修了した者に与える学位は、

保健看護学専攻 博士（保健看護学）

Graduate School of Nursing for Health Care Science, Doctor of Nursing for Health Care Science
である。

5 長期履修制度

本研究科では、職業を有している等の事情により、標準修業年限（3年）を超えて一定の期間（最長6年まで）にわたり計画的に教育課程を履修することを申請する者については、審査のうえ許可することがある。

詳細については、教育支援課入試係（電話：075-251-5167）まで問い合わせること。

表1 教育課程（授業科目と担当教員）

区分	授業科目名	単位数		配当年次	修了要件履修単位	担当教員名 (◎は主担当教員を示す)	備考
		必修	選択				
共通科目	[1] 研究方法論特別講義	2	-	1前	6単位	◎内海桃絵、郷良淳子、志澤美保、宮田千春、吉岡さおり、高橋由紀、細川陸也、諏訪敏幸	オムニバス
	[2] 生命・医療倫理学特別講義	2	-	1後		◎宮田千春、瀬戸山晃一、森本昌史、郷良淳子、高橋由紀、近田藍	オムニバス
	[3] 統計方法論特別講義	2	-	1後		◎手良向 聡、堀口 剛、中田美津子、内藤あかり	オムニバス
	小計（3科目）	6	-				
特別講義	[4] 基盤実践保健看護学特別講義	-	2	1前	2単位以上	◎吉岡さおり、内海桃絵、島田順一、宮田千春、近田藍、室田昌子、林容子	オムニバス
	[5] 広域実践保健看護学特別講義	-	2	1前		◎森本昌史、楠木泉、郷良淳子、志澤美保、毛利貴子、高橋由紀、原田清美	オムニバス
	小計（2科目）	-	4				
特別演習	[6] 保健看護学特別演習	2	-	1通	2単位	志澤美保、森本昌史、島田順一、楠木泉、郷良淳子、吉岡さおり、毛利貴子、内海桃絵、宮田千春、高橋由紀、室田昌子、近田藍、原田清美、伊藤尚子、細川陸也、林容子、占部美恵	
	小計（1科目）	2	-				
特別研究	[7] 特別研究	6	-	1～3通	6単位	志澤美保、森本昌史、島田順一、楠木泉、郷良淳子、吉岡さおり、毛利貴子、内海桃絵、宮田千春、高橋由紀、室田昌子、原田清美、占部美恵	
	小計（1科目）	6	-				
合計（7科目）		14	4	16単位以上			

保健看護学研究科 教員一覧

博士前期課程

研究領域	職位	担当者	研究領域	職位	担当者
臨床健康科学	教授	島田 順一	精神看護学	教授	郷良 淳子
小児発達保健学	教授	森本 昌史	(精神看護専門看護師コース)	講師	占部 美恵
女性生涯保健学	教授	楠木 泉	小児看護学	准教授	原田 清美
基礎看護学	教授	内海 桃絵		准教授	山口 未久(兼)
	准教授	近田 藍	母性看護学・助産学	教授	高橋 由紀
	講師	山本 容子	老年・在宅看護学	教授	毛利 貴子
看護倫理・管理学	教授	宮田 千春		准教授	伊藤 尚子
成人看護学	教授	吉岡 さおり	地域看護学	教授	志澤 美保
	准教授	室田 昌子		准教授	細川 陸也
	准教授	林 容子	北部キャンパス 地域総合ケアコース	教授	志澤 美保
がん看護学 (がん看護専門看護師コース)	教授	吉岡 さおり		准教授	山口 未久
	准教授	林 容子			

※北部キャンパス地域総合ケアコースは、全ての教員が兼務

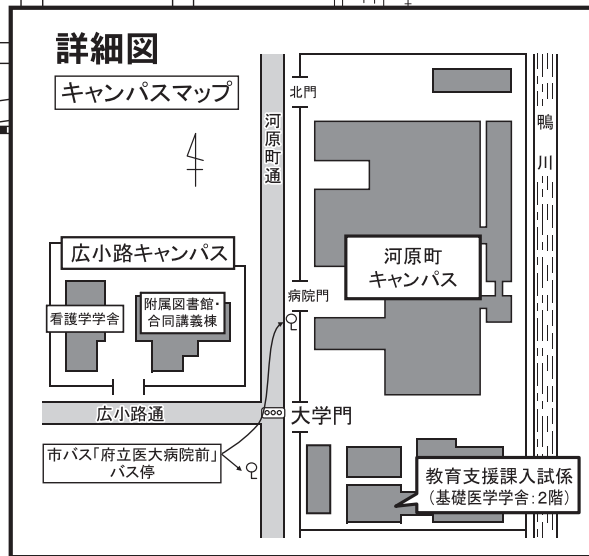
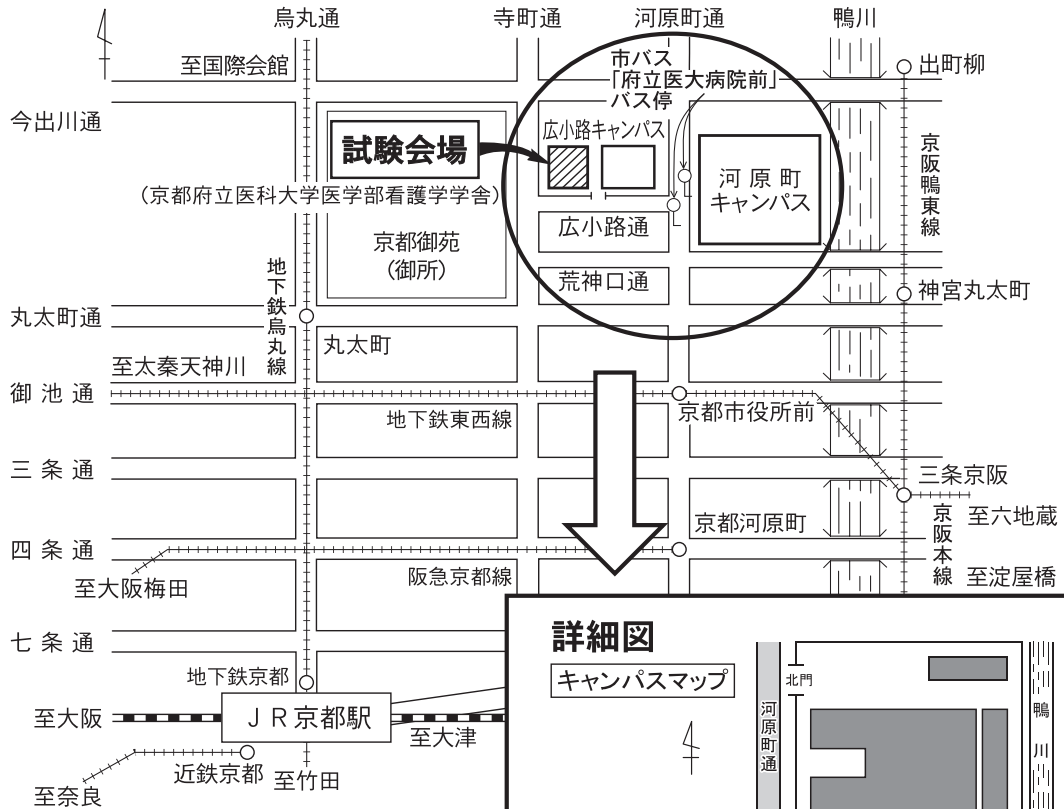
博士後期課程

研究分野	職位	担当者	研究分野	職位	担当者
基盤実践保健看護学	教授	内海 桃絵	広域実践保健看護学	教授	楠木 泉
	教授	島田 順一		教授	郷良 淳子
	教授	宮田 千春		教授	志澤 美保
	教授	吉岡 さおり		教授	高橋 由紀
	准教授	室田 昌子		教授	毛利 貴子
		教授		森本 昌史	
		准教授		原田 清美	

〈 入 学 試 験 会 場 案 内 〉

京都府立医科大学広小路キャンパス内 医学部看護学学舎

京都市上京区清和院口寺町東入中御霊町410番地



— 交通案内 —

- ◆ J R 「京都」 駅から市バス4・7・205系統で約30分、「府立医大病院前」下車
- ◆ 阪急「京都河原町」駅から市バス3・4・7・205系統で約10分、「府立医大病院前」下車
- ◆ 京阪「神宮丸太町」駅から徒歩10分

(注) 試験場の下見は許可しません。

入学者選抜に関する問合せ先

〒602-8566

京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町465番地

京都府立医科大学事務局教育支援課入試係

電話番号 075-251-5167 (直通)

問合せはやむをえない場合を除き志願者本人が行うこと。